

株式会社西紀荘

我々は地域資源を通して
お客様の心と体の満足に寄与します

お客様の想像を超える「楽しい」を全員で提供します

従業員の「楽しい」生活を実現します

想いを受け継ぎ地域の「センター」としての
役目を果たします



社 名：株式会社西紀荘
住 所：丹波篠山市遠方122番地1
役 職：代表取締役
氏 名：水口 義人
所 属：北播支部
同友会入会：2022年6月

■事業内容及び企業の沿革

弊社が運営しているtanoshic resort 西紀荘は、温泉宿泊複合施設です。1964年に大谷ヘルスセンターという温泉施設として始まりました。私の祖父は1975年に同地域内のゴルフ場のレストランで創業し、2009年に私が父の跡を継ぎます。西紀荘は宿泊業も行い経営母体が2社入れ替わり運営されてきましたが2017年に私たちの方で事業を行うことに。ゴルフ場のレストランから西紀荘の経営に主軸を移します。2022年グランピング、2023年カフェをOPENし、現在に至ります。

■経営理念（経営指針）の成文化について

いつ頃・どのようなきっかけ（勉強方法や経緯）で作成しましたか

同友会入会後すぐ63期の指針づくり勉強会に参加しました。社員との関係性に悩んでいる中、新事業のグランピングを始めることになり、組織をまとめる必要性を感じました。しかし1回目の講義で労使見解の「社員を最も信頼できるパートナーと考え」という文言が当時の自分には受け入れられず、新事業立上の忙しさにかまけ離脱。その後、グランピングも軌道に乗り、社員さんたちの協力を得たり同友会での学びもあったりで65期の指針づくり勉強会に再度参加すると、不思議と労使見解が腹落ちします。元々弊社には理念がなく、勉強会で作っては消し、悩み、自分のしたいことを全部棚卸し、壁打ちも沢山してもらい、なんとか合宿の最後に納得するものを捻り出しました。

その中での出来事について（社内での出来事・社員の変化など）

1回目の発表会で「社長は本気なのだ」と少しは感じてもらえたかなと。2冊目はプロジェクトという形で社員さんも

参画してくれています。自分たちで決めてミーティングしたり、進めてくれているのが嬉しいと感激したり、「もう少し早く」って思ったりしています（笑）。社員全員がMGにも参加してくれました。

■経営理念について

経営理念への想い

指針づくり勉強会で、地域のことや歴史を聞き、いろいろな人の想いがある今のこの事業をさせてもらっているということを実感しました。その想いは引き継ぎたいし、その土壌を作ってくれた人たちや地域に報いたいと感じています。地域資源の恩恵を生かして事業を行い、その良さを地域の人たちや外からの人たちにも知ってもらえるといいなと思っています。

これからの夢・抱負

草山は、温泉という資源とこの地域を大谷グループの創始者が気に入り、開発を進め、地域が発展してきました。我々もこの温泉やジビエ、食材や地形など地域の資源を生かして、沢山の人来てもらい、体も心も満足し、その人にとっての活力となるような、そして地域がポジティブになるような総合ウェルネスタウンの創造を目指しています。地域の中の人と外の人に関われる施設にしていきたいです。

